


2. いつも使う機能をタブレットひとつで行う

2-1.カメラで写真を撮る

デジタルカメラが無い場合でも、カメラツールからタブレットPCのカメラで手軽に写真や動画を撮ることができます。

■ 操作手順

活用するアプリ：  カメラ



先生



児童

操作1 タブレットのカメラを使って写真や動画を撮影する

カメラツールは、ガイドメニュー【あつめる・まとめる】の【カメラ】をタップして起動します。

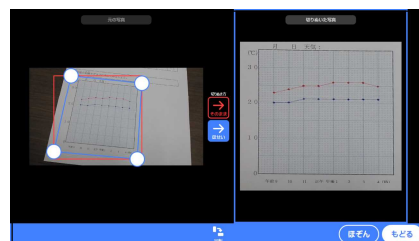


① 静止画を撮る

青い【さつえい】ボタンをタップして静止画を撮影します。

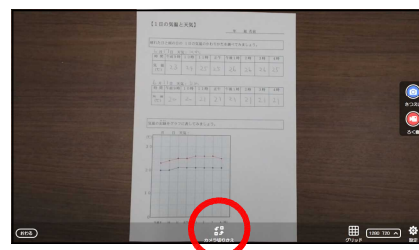
撮影した後、画像を90度回転したり、必要な部分を四角く切り出したりできます。

四隅を指定して台形補正をすると斜めの写真も正面から撮影したように見せることができます。



② 動画を撮る

赤い【ろく画】ボタンで動画の撮影を開始します。
もう一度タップすると撮影を終了します。



③ カメラ切りかえ

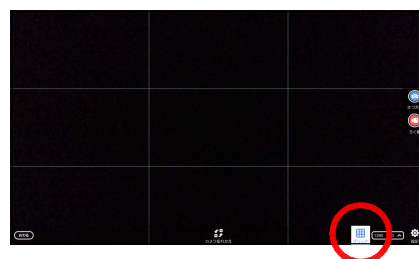
タブレットPCの手前側と外側のカメラを切り替えます。

④ グリッドを表示させる

平行・垂直の補助線を表示します。

後で比べやすい2つの動画・画像を撮影する時の目安となります。

撮影した写真や動画には、この線は記録されません。

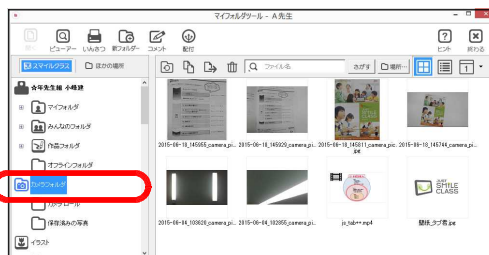




● One Point ● 撮影した写真や動画を観る

撮影した写真や動画は、マイフォルダツールの【カメラフォルダ】から確認することができます。

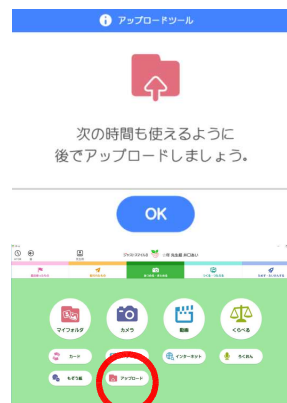
デスクトップのカメラフォルダから確認することもできます。不要な写真や動画があれば、削除しておくといでしょう。



● One Point ● 撮影した写真や動画をみんなで共有する

撮影した写真や動画は、ネットワーク上ではなく、いったんタブレットPC内(C:\¥JUST¥ドキュメント¥カメラデータ)に保存されます。これは、体育館や校庭などネットワークが繋がっていない場合の利用も想定していることと、すべてサーバーに保存するとサーバーの容量を圧迫してしまうためです。

写真や動画を撮ったあと、アプリ終了後に右のような画面が出ます。



ガイドメニュー【あつめる・まとめる】の【アップロード】をタップするとファイルの選択画面が出るので、必要なファイルを選んでマイフォルダにアップロードしましょう。

「アップロードしたファイルはこのコンピューターから消す」にチェックを入れると、あとで写真を削除する手間を省けます。

また、アップロードする際にはファイル容量を小さくすることができるので、サーバー容量の圧迫が軽減できます。




※スマイル8の環境復元機能を標準設定で使用している場合、タブレットPC内のカメラデータフォルダ(C:\¥JUST¥ドキュメント¥カメラデータ)は復元対象外になっているので、撮影した写真や動画が再起動のタイミングで消えてしまうことはありません。

2-2.音や声を録音する

英語の発音やスピーチ、リコーダーの演奏などを録音することができます。
録音した音声を繰り返し再生して発音の練習に役立てたり、音声を編集して他のアプリで活用したりすることもできます。

■ 操作手順

活用するアプリ：  ろくおん



先生



児童

操作1 タブレットを使って録音する

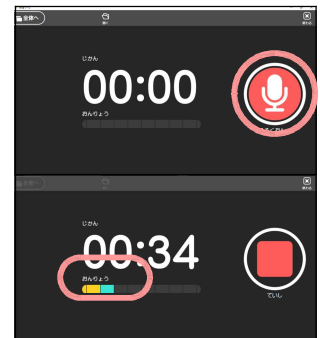
カメラツールは、ガイドメニュー【あつめる・まとめる】の【ろくおん】をタップして起動します。

① 録音する

【ろくおん】 ボタンをタップして、マイクに向かって自己紹介などを録音してみましょう。

その際【おんりょう】の表示を確認しながら、マイクとの距離や声の大きさを調整しましょう。

【ていし】をタップすると、録音が終了して一覧画面に進みます。



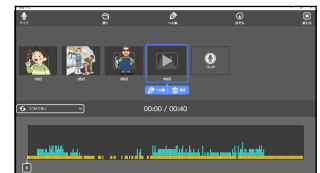
② 録音した音声を確認する

一覧画面には録音した順に音声が並んでいて、タップすると再生できます。

続けて録音したいときは、【つか】や【マイク】のボタンから録音画面に戻り、そこからまた録音を行います。

【へん集】では音量の波形を見ながら、いらない部分をトリミングすることができます。

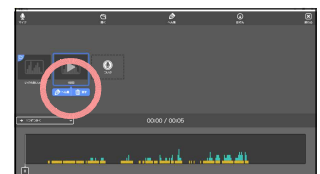
保存したい音声は、その音声をタップして選んだ状態で【ほぞん】します。



※お手本と自分の音声を聞き比べる

児童の録音ツールには、お手本の音声と自分の音声が並ぶので、それぞれタップして再生して確認することができます。

【つか】で納得いくまで録音し直すこともできます。



2-3.日本語を入力する

スマイル8には、小学生向け日本語入力システムとしてATOKスマイルが入っています。
タブレットで活用できる手書き入力や五十音順に並んだボタン形式の入力など、複数の入力形式が選べるので学年やキーボードの熟練度によらず文字の入力ができ、作品づくりに集中できます。

■ 操作手順

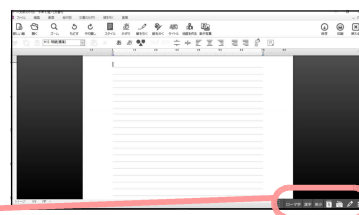
活用するアプリ：  ATOKスマイル



先生

操作1 ATOKスマイルのツールパレットを確認する

ワープロなどの編集画面で文字入力ができる状態になると、画面に下のようなツールパレットが表示されます。



① ローマ字入力・かな入力を切り替える

スマイル7に1・2年でログインした場合はかな入力に、3～6年や先生でログインした場合はローマ字入力になります。
ツールパレットのこの部分をタップして、いつでも変更することができます。

② 漢字変換辞書を切り替える

(→詳細は次ページ **操作2** を参照)

③ タップで文字を入力する

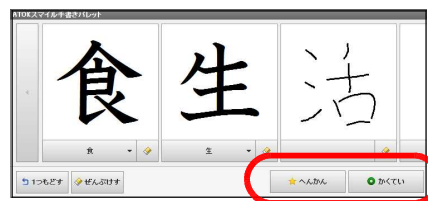
五十音順に並んだクリックパレットを呼び出します。
画面上のパレットをタップするだけで、文字を入力できます。
キーボード操作に慣れていない場合に使うと便利です。



④ 手書きで文字を入力する

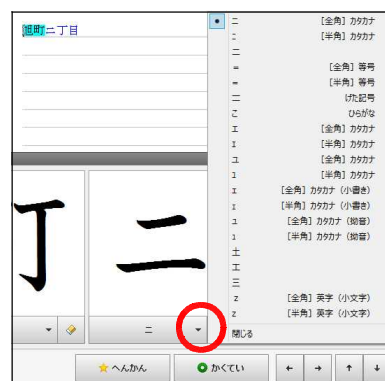
ペンや指で文字を書いて入力できます。
読み方がわからない漢字を入力するときや、目的の漢字にうまく変換されないときに使うと便利です。

マス目に文字を書きこむと、順次文字が認識されます。
認識が終わったら【へんかん】で漢字変換し【かくてい】ボタンで入力が確定します。



正しく文字認識されないときは、認識されたマス目の下の【▼】をタップして、他の認識候補から選ぶか【消しゴム】ボタンをタップして入力し直します。

手書き入力を終わるときは、手書きパレット右上の【×】ボタンをタップします。





児童

操作2 学年別辞書を切り替える

ATOKスマイルには、8つの漢字変換辞書があります。

- 標準辞書(先生用)
- 人名変換辞書
- 1年生辞書
- 2年生辞書
- 3年生辞書
- 4年生辞書
- 5年生辞書
- 6年生辞書

学年別辞書による変換例

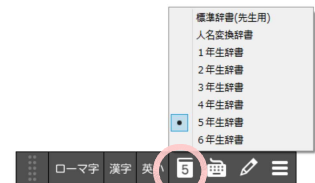
| | |
|-----------|-----------------|
| 標準辞書(先生用) | 一心不乱に復習する |
| 1年生辞書 | いっしんふらんにふくしゅうする |
| 2年生辞書 | 一心ふらんにふくしゅうする |
| 3年生辞書 | 一心ふらんにふく習する |
| 4年生辞書 | 一心不らんにふく習する |
| 5年生辞書 | 一心不らんに復習する |
| 6年生辞書 | 一心不乱に復習する |

学年別辞書は、スマイル8にログインした学年に応じて自動的に切り替わります。

※先生ユーザーでログインした場合は、標準辞書(先生用)に切り替わります。

学年別辞書の利用時は、その学年でまだ習わない漢字は変換されず、「ふく習」(4年生辞書の場合)のように、交ぜ書き変換になります。

学年別辞書は、ツールパレットの**本のマーク**をタップすることで、別の辞書に切り替えることもできます。



● One Point ● ATOKスマイルの便利な変換

・地名・人名の優先変換

地名や人名は、学年別辞書の学年に関わらず変換できます。

例：あいちけんかすがいしこうぞうじ **変換** → 愛知県春日井市高蔵寺
さいとうあやか **変換** → 斎藤彩花 (斎藤・齋藤も変換可)

・F4キーで英単語変換

普段の変換(スペースキー)をF4キーですると、日本語や読み、語句を英語変換でき、外国語教育の教材作りなどに役立ちます。

例：きょうしつ **F4変換** → classroom
じらふ **F4変換** → giraffe
じゅうのめがみ **F4変換** → Statue of Liberty